

表情探求する陶芸



新作の立体と絵画を展示している伊藤慶二さん。東京・六本木の小山登美夫ギャラリーで。

岐阜県的美濃陶芸界を代表する伊藤慶二さん(88)は、同県土岐市での個展が、東京・六本木の「小山登美夫ギャラリー」で開かれている。

15年ほど前から取り組んできた抽象的な人物の造形シリーズ「面」に連なる作品をはじめ、陶の立体と絵画あわせて43点の新作を展示。人物を描いた油彩画では、陶の造形の中で培ったというペインティングナイフによる鋭角的な線が、輪郭と表情を際立たせる。現代美術で名高い同ギャラリー

岐阜の伊藤慶二さん 東京で個展

りでの個展は2回目。陶芸、現代美術の領域を超えて高い評価を受けるが、素材の違いからさまざまな表情を探求する陶芸への姿勢は「今も昔も変わっていない」という。

近年は「人と家との関わり」に関心を寄せ、会場には家を題材に制作した立体や絵画も多数並べた。伊藤さんは「人にとって大切な空間としての家を、形にしていきたい」と話す。16日まで、入場無料。同ギャラリーは電03(6434)7225(宮崎正嗣)

国	作家	執筆者	文献タイトル	媒体名	発行日	頁	発行元	展覧会名
J	伊藤慶二	宮崎正嗣	表情探求する陶芸	中日新聞 夕刊	2023年12月2日	P.4	中日新聞社	